

2013 年度 定例総会議事録

標記の総会が 2013 年 5 月 25 日（土）11 時 35 分より福島県福島市飯坂温泉の「パルセイ
いざか」1 階第 1 会議室にて開催された。出席 40 名，委任状により表決権を委任した者 66
名で，出席者合計が，5 月 15 日現在の正会員数 494 名の 10 分の 1 以上となり会則第 14 条
により総会は成立した。以下の事項が報告・承認された。

なお、監事からの会計報告の際に、「経理的には問題ないが、支出が少ないのは活動が不
活発と見ることもできる。編集委員会ではメールベースで処理できるのかもしれないが、
対面での編集委員会を増やす会計措置があっても良いと思われる。」とのコメントが付され
た。

I. 2012 年度事業報告 (2012. 04. 01～2013. 03. 31)

1. 概況

2012 年度は，川崎茂会長・瀬尾隆副会長をはじめとする 15 名の理事，および鎌倉稔
成・清水邦夫の両監事の体制で活動した。

財務状況はかなり改善された。経費削減策が奏功した結果である。

会員数は減少傾向にあり，2012 年度末現在で 532 名という状況である。内訳は正会員
504 (522) 名，学生会員 28 (25) 名，賛助会員 6 (6) 社，機関・団体購読は 43 (55)
件である（カッコ内の数字は 2011 年度末のもの）。正会員と学生会員を足した会員数
の推移は次のとおり。会員増への方策が望まれる。

	2008 年度末	2009 年度末	2010 年度末	2011 年度末	2012 年度末
会員数	570 名	553 名	550 名	547 名	532 名

2. 総会の開催

総会を 2012 年 5 月 24 日に統計数理研究所（立川市）で開催した。

3. 評議員会

2012 年 5 月 24 日に定例評議員会を開催し，総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

対面理事会を 2012 年 5 月 18 日，5 月 24 日の計 2 回，メール審議の理事会を計 7 回開
催し，学会の運営に関する事項について審議した。審議内容を要録として学会誌に掲
載した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.41 の No.1，No.2 および No.3 を発行した。Vol.41 の掲載原稿は，
研究論文 4 編，その他 3 編である。総ページ数の推移は次のとおり。

	Vol. 37	Vol. 38	Vol. 39	Vol. 40	Vol.41
総ページ数	156 頁	180 頁	130 頁	209 頁	152 頁

6. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。

(1) 優秀論文賞

加藤直広, 栗木哲 「2次多項式回帰曲線の正值性検定」, Vol. 41(1), 1-16.

(2) 奨励論文賞

*水関裕人, 黒木学 「誤差相関のない確認的直交二因子モデルの探索可能性について」

Vol. 41(3), 129-152. (*が受賞者)

7. 年会

2012年度年会を2012年5月24日に統計数理研究所で開催した。特別講演3件, 一般講演7件の発表があった。また, ポスターセッションでは10件のポスター発表が行われ, 優秀ポスター発表として以下の3名を選出した。

野間久史 (統計数理研究所), 川崎協 (東京理科大学), 小林千鶴 (中央大学)

参加者は122名(正会員(後援学会員を含む)72名, 学生会員44名, 非会員6名)であった。参加者数の推移は次のとおり。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
参加者数	91名	126名	125名	122名

8. チュートリアルセミナー

日本計量生物学会との合同主催により, 2012年5月25日に統計数理研究所で開催した。

「予測医療に向けた臨床試験デザイン」をテーマとして, 松井茂之氏 (統計数理研究所), 山中竹春氏 (九州がんセンター), 吉村健一氏 (京都大学) に講演いただいた。

参加者は139名(正会員(含協賛学会員)95名, 学生11名, 非会員33名)であった。参加者数の推移は次のとおり。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
参加者数	21名	80名	166名	139名

9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2012年9月9日~12日に北海道大学で開催した(共催: 応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会, 後援: 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点)。

参加者総数824名, 発表件数368件。講演数の内訳は, 大会特別セッション5件, 企画セッション84件, 一般セッション248件, コンペセッション27件, デモンストレーション4件。また, 一部の企画セッションを北海道大学情報基盤センターおよび文部科学省との共催セッションとして, ワークショップを開催し, 23件の講演。その他, ソフトウェアセッション4件, チュートリアルセミナー(参加141名), 市民講演が行われた。本学会の企画セッションとして, 応用統計学会論文賞講演, 「非対称分布の統計学の理論と実際」を行った。

大会参加者とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおり。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
大会	838名	900名	821名	824名
チュートリアルセミナー	220名	288名	147名	141名

10. 関連学会等との共催行事

主催または共催した行事は次のとおり。

- (1) 第3回科学技術のための統計教育フォーラム（主催団体の1つ）、2012年12月26日、成城学園大学
- (2) 応用統計学シンポジウムⅠ「ビッグデータイニシアティブ：データ科学の高度化と活用の実際」（共催：統計数理研究所，統計関連学会連合）、2013年2月1日、日本大学経済学部（水道橋）
- (3) 応用統計学シンポジウムⅡ「グローバル時代の統計、統計学」（共催：立教大学社会情報教育研究センター）、2013年3月19日、立教大学（池袋キャンパス）

11. 関連学会等との協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し、各委員会に出席するなど協調を行った。

- (1) 統計関連学会連合
理事会（川崎会長，瀬尾副会長，椿理事），幹事（黒木理事，大西理事），事業委員会（鎌倉監事），統計教育推進委員会（田栗会員，福井会員），教材開発委員会（中西理事，藤井理事，渡辺理事，小林会員，南会員）
- (2) 統計関連学会連合大会
2012年度大会 プログラム委員会（清水監事，栗木会員），運営委員会（瀬尾副会長）
2013年度大会 プログラム委員会（竹内理事，渡辺理事），運営委員会（黒木理事）
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合
代議員（鎌倉監事），理事会（渡辺理事），学術・国際委員会及び産学連携委員会（渡辺理事）
- (4) 統計教育大学間ネットワーク
運営委員会（渡辺理事），質保証委員会（田栗会員，福井会員），カリキュラム策定委員会（中西理事，藤井理事，渡辺理事，小林会員，南会員）
- (5) リスク研究ネットワーク役員
運営委員会（椿理事）

12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを常に更新し，学会員への情報公開を円滑にした。また，メーリングリストによる情報公開を行った。

月刊誌「統計」（日本統計協会）への毎年1回の特集編集参加を了承した。また，学会

を通じての割引価格での定期購読の募集を行った。
その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

II. 2012 年度決算報告

(自 2012 年 4 月 1 日～至 2013 年 3 月 31 日)

1. 収入の部				(単位 円)
勘定科目		決算額	予算額	差額
1. 会費収入		2,535,000	2,408,250	126,750
(1) 正会員		2,360,000	2,245,500	114,500
(2) 学生会員		75,000	42,750	32,250
(3) 賛助会員		100,000	120,000	▲ 20,000
2. 雑誌売上収入		226,800	231,000	▲ 4,200
(1) 購読料収入		226,800	231,000	▲ 4,200
(2) バックナンバー売上		0	0	0
3. 広告料		90,000	90,000	0
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入		410,000	450,000	▲ 40,000
5. 年会等関係収入		1,069,346	470,000	599,346
(1) 年会収入		465,000	270,000	195,000
(2) チュートリアル収入		143,660	200,000	▲ 56,340
(3) ワークショップ収入		460,686	0	460,686
6. 雑収入 (著作権料・利息等)		152,144	70,000	82,144
当期収入合計		4,483,290	3,719,250	764,040
前期繰越金		2,699,375	2,699,375	0
収入合計		7,182,665	6,418,625	764,040
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 (2) チュートリアル収入・・・計量生物との合同開催 (当年度は計量生物の主催のため、主催側の計量生物学会が会計担当となり、終了後に会計を清算し、収支を折半する) ・ 5 (3) ワークショップ収入・・・「応用統計学シンポジウムⅠ」参加費及び出展料 ・ 6 雑収入・・・著作権料・利息等 (9件) 146,144円 + 雑誌「統計」購読料 (1件) 6,000円 				
会費収入に関する補足				
2013年3月31日現在会員532名 (2013年3月末で退会予定の16名を含める)				
内訳	正会員	504名		
	学生会員	28名		
正会員収入内訳				
	2011年度まで	125,000円 (14名)		2005年-2011年度1名 2008年-2011年度1名 2010年-2011年度2名 2011年度10名
	2012年度	1,265,000円 (253名)		
	2013年度から	970,000円 (194名)		
学生会員収入内訳				
	2011年度まで	12,500円 (3名)		2010年-2011年度2名 2011年度1名
	2012年度	42,500円 (17名)		
	2013年度から	20,000円 (8名)		
	会費納入率	87.26%	(前年度に納入された952,500円を含める)	
	機関購読数	43件		

2. 支出の部			(単位 円)
勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	1,383,696	1,570,000	▲ 186,304
(1) 印刷費	958,545	1,050,000	▲ 91,455
(2) 校正費	150,000	150,000	0
(3) 通信・発送費	275,151	370,000	▲ 94,849
2. 年会等関係費	651,682	520,000	131,682
(1) 年会支出	381,665	320,000	61,665
(2) チュートリアル支出	0	200,000	▲ 200,000
(3) ワークショップ ^o 支出	270,017	0	270,017
(4) 共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	980,163	1,070,000	▲ 89,837
(1) 事務委託費	750,000	750,000	0
(2) 消耗品費	114,098	120,000	▲ 5,902
(3) 会議費	24,330	80,000	▲ 55,670
(4) 雑費	70,385	80,000	▲ 9,615
(5) 名簿作成費	0	0	0
(6) 事務合理化費	10,330	20,000	▲ 9,670
(7) 選挙費	11,020	20,000	▲ 8,980
4. 役員旅費補助	0	150,000	▲ 150,000
5. 関連学会協調事業費	103,140	110,000	▲ 6,860
(1) 関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2) 連合大会	23,140	30,000	▲ 6,860
6. 学会賞	49,975	70,000	▲ 20,025
当期支出合計	3,168,656	3,490,000	▲ 321,344
収支差額(次年度繰越金)	4,014,009	2,928,625	1,085,384
支出合計	7,182,665	6,418,625	764,040
・ 1 (1)印刷費・・・「応用統計学」Vol.41-1,41-2, 41-3			
・ 5 (3) ワークショップ ^o 支出・・・「応用統計学シンポジウムⅠ」予稿集印刷費およびアルバイト代等			
2013年度への繰越金の内訳			
項目	2012年3月31日現在	2013年3月31日現在	
銀行預金	975,833	1,431,886	
郵便貯金	839,168	839,270	
定額貯金	500,000	500,000	
郵便振替	353,888	1,241,998	
現金	30,486	855	
合計	2,699,375	4,014,009	

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2012年4月1日より2013年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2013年4月23日

監事

清水 邦夫
鎌倉 稔成

Ⅲ. 2013年度事業計画案(2013.04.01～2014.03.31)

1. 機関紙の発行

「応用統計学」Vol. 42 を発行する.

なお、「応用統計学」Vol.42(3)(2013年12月刊行予定)で故田口玄一先生の特集を予定している.

2. 応用統計学会論文賞の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞を授与する.

3. 年会の開催

本年度の年会を5月24,25日に福島県飯坂市「パルセいいざか」にて開催し、併せて評議員会及び総会を開催する.

4. 市民講演会の開催

日本計量生物学会と共同主催で、5月25日午後に福島県飯坂市「パルセいいざか」において開催する. 川崎茂氏(応用統計学会会長)が「災害と統計」、大橋靖雄氏(日本計量生物学会会長)が「がん予防と疫学研究」を講演する.

5. 教員向け研修の開催

日本計量生物学会及び統計数理研究所と共同主催で、5月25日午前福島県飯坂市「パルセいいざか」において「理数系教員指導力向上研修(福島)」を開催する. テーマは、『新学習指導要領に対応する統計授業力向上～「資料の活用」・「データの分析」で育む問題解決力～』.

6. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2013年度統計関連学会連合大会を2013年9月8日～11日に大阪大学(豊中キャンパス)にて開催する. 応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催する. 企画セッションとして、当学会からは、応用統計学会 学会受賞者講演を行う予定である.

7. 研究集会

統計数理研究所等が2013年5月13日筑波大学東京キャンパスで開催予定の「田口玄一先生の追悼シンポジウム」に対し共催を行う.

その他、必要に応じてその他の研究集会を開催する. また、科研集会を支援する.

8. 関係学会との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に、その他関係学会との協調を促進する.

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)
- (3) リスク研究ネットワーク
- (4) 統計教育大学間連携ネットワーク

9. 財務体質の改善

会員増強および経費削減に努める。

10. 学会員への情報公開

ホームページの充実をはかり，学会員への情報公開を円滑に行う。

11. 応用統計学会役員選挙

2014・2015年度の応用統計学会会長・副会長，評議員の選挙を行う。

12. その他

IV. 2013 年度予算案

(自 2013 年 4 月 1 日～至 2014 年 3 月 31 日)

勘定科目	2012年度予算	2012年度実績	2013年度予算
(単位 円)			
1. 会費収入	2,408,250	2,535,000	2,380,000
(1) 正会員	2,245,500	2,360,000	2,200,000
(2) 学生会員	42,750	75,000	60,000
(3) 賛助会員	120,000	100,000	120,000
2. 雑誌売上収入	231,000	226,800	218,400
3. 広告料	90,000	90,000	90,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	450,000	410,000	450,000
5. 年会等関係収入	470,000	1,069,346	270,000
(1) 年会収入	270,000	465,000	270,000
(2) チュートリアル収入	200,000	143,660	0
(3) ワークショップ収入	0	460,686	0
6. 雑収入 (著作権料・利息等)	70,000	152,144	70,000
当期収入合計	3,719,250	4,483,290	3,478,400
前期繰越金	2,699,375	2,699,375	4,014,009
収入合計	6,418,625	7,182,665	7,492,409
個人会員の会費納入率を90%として			
正会員・・・440名(489名×0.90) ×5,000円=2,200,000円			
学生会員・・・24名(27名×0.9) ×2,500円=60,000円			
賛助会員・・・6件×20,000円=120,000円			
・ 2. 雑誌売上収入 団体会員購読料収入			
52部(42件) ×6,000円×0.7(マテマティカ手数料) =218,400円			
・ 4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入			
掲載料(ページチャージ) 1号につき15万円×3号分=450,000円			
但し予算収入は掲載料を見込む			

2. 支出の部			
(単位 円)			
勘定科目	2012年度予算	2012年度実績	2013年度予算
1. 機関誌関係費	1,570,000	1,383,696	1,570,000
(1) 印刷費	1,050,000	958,545	1,050,000
(2) 校正費	150,000	150,000	150,000
(3) 通信・発送費	370,000	275,151	370,000
2. 年会等関係費	520,000	651,682	320,000
(1) 年会支出	320,000	381,665	320,000
(2) チュートリアル支出	200,000	0	0
(3) ワークショップ支出	0	270,017	0
(4) 共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,070,000	980,163	1,160,000
(1) 事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2) 消耗品費	120,000	114,098	120,000
(3) 会議費	80,000	24,330	80,000
(4) 雑費	80,000	70,385	80,000
(5) 名簿作成費	0	0	0
(6) 事務合理化費	20,000	10,330	20,000
(7) 選挙費	20,000	11,020	110,000
4. 役員旅費補助	150,000	0	150,000
5. 関連学会協調事業費	110,000	103,140	110,000
(1) 関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2) 連合大会	30,000	23,140	30,000
6. 学会賞	70,000	49,975	70,000
小計	3,490,000	3,168,656	3,380,000
7. 予備費	2,928,625	4,014,009	4,112,409
当期支出合計	6,418,625	7,182,665	7,492,409
・ 1. 機関紙関係費 印刷費・・・42巻1-3号の1号につき35万円として算出			
・ 5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費			
横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円、統計関連学会連合年会費3万円含む			